

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年4月14日
大町保健福祉事務所

提出区分		実績			
整理番号		18	課題区分	C	
実施機関			大町保健福祉事務所		担当課
事業名			シニアの居場所づくり支援事業		
			所属	大町保健福祉事務所(福祉課)	
			電話	大町合同庁舎 内線2142	
			E-mail	omachiho-fukushi@pref.nagano.lg.jp	
事業概要	目的 (目指す姿)	歩いて訪れることができる身近な地域において、高齢者の孤立防止や介護予防、子どもの見守りや学習支援等多世代の人々が利用できる「居場所」がシニアの手によりつくられ、担われることにより、高齢者の生きがいがづくり、社会参加を促進される。			
	現状と課題	健康長寿で暮らしていくには「人とのつながり」を維持することが効果的とされている。シニアが身近な地域で「人とのつながり」を実感できる場所づくりに向けた取組が、大北各地で行われているが、まだ地域に十分に知られていない状況にある。居場所づくりを進めようとする担い手の発掘や、実際に取組を進めるにあたっては、開設の仕方、運営のノウハウ等様々な課題がある。			
	内容 (変更後の内容)	「まちの縁側講座」 (1) 第1回 大町市北部(平地区)(7月26日) 具体的な居場所づくりに向け、昨年度の「縁側講座」参加者を中心とした取組を支援する形で開催した。 (2) 第2回 松川村(3月6日) 関係者や住民の意識の醸成を目的に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止した。 2 居場所づくり実践に係る情報発信 管内におけるシニアの社会参加活動に係る好事例とともに、「まちの縁側講座」の取組状況を記録にまとめ、リーフレット形式にして管内の関係機関及び団体、一般住民に広く情報発信を行った。			
	事業期間	令和元年7月 ~ 令和2年3月			
	成果目標 (成果指標)	(1)まちの縁側講座(全2回)への一般住民を含めた参加 各20名以上 (2)居場所づくり実践に係るパンフレット(500部)を発行し、圏域内に広く配布及び周知する。			
事業費	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	まちの縁側講座開催	大町市北部においてまちの縁側講座を開催	19,980	当初予定していた松川村での縁側講座は中止	
	居場所づくりに関する情報発信	シニアの社会参加活動の事例等をまとめ、リーフレットを作成、地域に情報発信	72,940	3月下旬に500部を作成、管内に送付した。	
	合計		92,920		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	1 まちの縁側講座 (1) 第1回 大町市北部(平地区)(7月26日) H30に大町市中心部で開催した「居場所づくりのための縁側講座」を大町市平地区において地域包括支援センターとの共催により開催した。大町市北部地域の小単位地区から30名の参加を得た。 ※ 第2回 松川村(3月6日)を計画していたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止 2 居場所づくり実践に係る情報発信 管内におけるシニアの社会参加活動に係る好事例とともに、「まちの縁側講座」の取組状況をまとめたリーフレットを500部作成し、管内の関係機関及び団体、一般住民に送付した。		・居場所づくりの意義について、普及を図ることができた。 ・昨年度の講座の受講者が中心となり、自分たちの地域において、居場所づくりに主体的に取り組むという機運が醸成できた。講座終了後に、まちの縁側の手法により高齢者のラジオ体操の取組みが始まるなど、具体的な居場所づくりにつながった。 ・リーフレットの作成により、管内のシニアが人とのつながりの中で生き生きと活動している事例に焦点を当てることで、シニア自身に社会参加していく力や可能性があることを認識していただける契機となった。		○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下
今後の方向性	R2年度においては、今年度開催できなかった地域を含め、管内の他地域への取組みの広がりを画策していく。				